

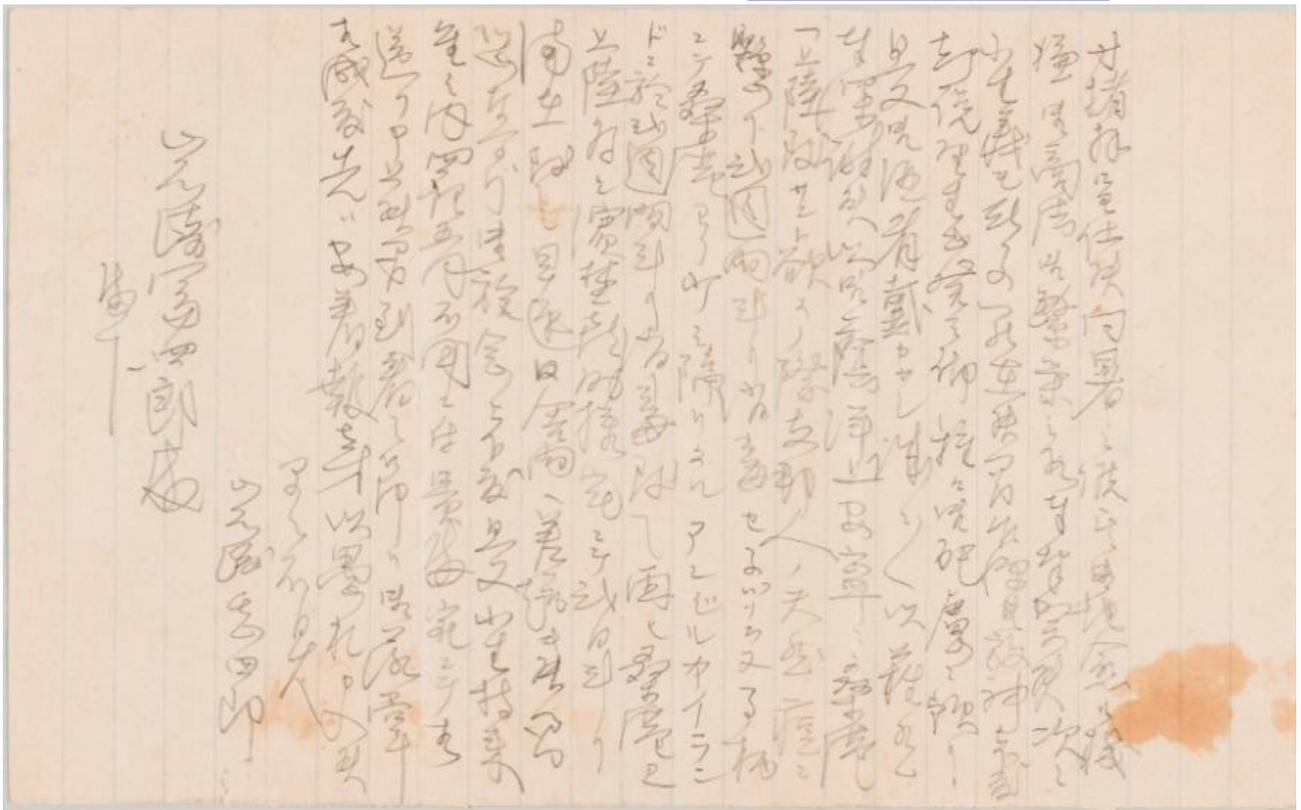
# エンジェル島と移民 —手紙でたどる明治時代の移民2—

19世紀後半のアメリカでは、南北戦争後の奴隷労働の廃止と第2次産業革命による工業化の進展によって必要とされた労働力として、移民が急増しました。当時、太平洋を渡りアメリカ西海岸へ到着した移民が初めに訪れたのが、サンフランシスコ湾にあるエンジェル島でした。1892(明治25)年にアメリカへ渡った岩崎甚四郎の手紙とともに、エンジェル島にまつわる移民の歴史をみていきます。

## 1 資料

【資料】 桑港(サンフランシスコ)到着につき書状

[\\*資料のデジタル画像を見る](#)



【翻刻】

【大意】

寸楮拝呈仕候向暑之候其御地愈御機嫌御商法御繁栄之段奉南賀候次ニ小生義も無事罷在候間乍憚御放神被下度却説野生出発之砌種々御配慮ニ預り且又御酒肴戴申サレ誠ニ以難有奉深謝候以御陰洋上安寧ニ桑港へ上陸致サント欲スノ際志那人ノ天然痘ニ懸リ式週間計リ消毒セネバナラヌ事柄ニテ桑港ヨリ少シ隔テタル降りタルアンジェルアイランドニ於式週間計リ消毒致し再ヒ桑港ニ上陸致シ浜野喜助様宅ニテ式日計リ待在致し早速田舎間へ差趣キ候間恐ながら御放念被下度且又小生持来金之内四拾五円不用ニ付貴殿宛ニテ相送り申上候間到着之節ハ御落掌相成度先ハ安着報旁以愚札申入候

岩崎富四郎殿  
殿下

早々不具  
岩崎甚四郎

短い手紙を差し上げます。向暑の候、そちらはいよいよ機嫌、商いが繁栄のこととお祝い申し上げます。次に私も無事でありますので、はばかりながら、御心配なさらないでください。さて、私が出発の際、様々な御配慮に預かり、また酒と肴をいただき誠に誠にありがたく深く感謝申し上げます。おかげで洋上は安寧でした。サンフランシスコへ上陸しようとした際、中国人が天然痘に罹り二週間ばかり消毒せねばならぬ事にてサンフランシスコより少し隔てたエンジェル島において二週間ばかり消毒して再びサンフランシスコへ上陸し、浜野喜助様宅にて二日ばかり滞在し、早速田舎へ赴きましたので、気にしないでください。私がつけてきたお金のうち四十五円は使わなくなつたので、あなた宛てに送りましたので、届いたときには受け取ってください。まずは安全に到着した御報告かたがた御礼申し上げます。

岩崎富三郎殿

早々不具  
岩崎甚四郎

## 2 解説

### (1) エンジェル島

アメリカ西海岸の都市サンフランシスコ周辺にエンジェル島があります。19世紀末、ここに検疫所が開設され、太平洋を渡りアメリカ西海岸へ到着した移民が検疫を受けました。エンジェル島は、19世紀後半に移民局が設置されたアメリカ東海岸の都市ニューヨーク周辺のエリス島とともに、アメリカの東西の玄関口でした。



エンジェル島

### (2) 本資料について

岩崎家文書(和歌山市紀三井寺)には、アメリカに渡った人々からの手紙などがあります。本資料は、紀三井寺村からアメリカへ渡った岩崎甚四郎が紀三井寺村の義兄・岩崎富三郎へ送った手紙です。

資料には、1892(明治25)年4月16日にサンフランシスコに到着したが、同じ船に中国人の天然痘罹病者がいたためエンジェル島で2週間待機となったことが記されています。資料には記されていませんが、甚四郎はエンジェル島で検疫を受けたものだと考えられます。

資料には、甚四郎が紀三井寺村から持ってきた45円を使わなかったので送金したと記されています。このことから紀三井寺村に暮らす家族は決して裕福ではなく、甚四郎が家族のことを気にかけていたことがわかります。また、サンフランシスコに上陸後、甚四郎は浜野喜助という者のもとで2泊したと記しています。このことから日本からアメリカに来た移民の世話をする者がいて、サンフランシスコで日系人のコミュニティが形成されていたことがわかります。

### (3) その後のエンジェル島

エンジェル島は、1910(明治43)年に検疫所と入国管理局が合併し、入国時の身体検査が2段階になりました。はじめに医務官による目視・触診が行われ、異常がなければ検査はここで終了しました。しかし、一等船客以外のアジア系移民は、下剤を飲ませられ、伝染病の検査を受けました。この検査結果を待つために拘留所で一晩を過ごした後、陰性であれば入国許可がなされました。「アジア系移民は伝染病の患者が多い」との偏った人種観と公衆衛生の名のもとに差別的な扱いが続きました。

1907(明治40)年には、労働目的の日本人移民を禁止する日米紳士協定が結ばれました。この協定では、既にアメリカに住んでいる日本人の家族の渡航は許可されていました。当時、日本人移民の多くは出稼ぎによる男性で、日本から妻<sup>1</sup>や子呼び寄せ、上の写真のように多くの日本人女性がエンジェル島での入国審査を受けました。1924(大正13)年には移民法が制定され、新規の日本人移民は入国できなくなりました。

1941(昭和16)年に太平洋戦争が始まると、ハワイ・アメリカ西海岸地域に住む約12万人の日系人が居住地の近くに一時収容され、その後、内陸の強制収容所(右写真のトパーズ収容所等)に移送されました。エンジェル島にも一部の日系人が一時収容されました。一方、ドイツ系・イタリア系アメリカ人への長期間の強制収容は行われませんでした。



エンジェル島に向かう日本人女性



トパーズ収容所跡  
ユタ州の日系人強制収容所

<sup>1</sup> 独身男性の中には、日本の親族に自身の写真と履歴を送り、親族を通じて結婚相手を探した人もいました。相手が決まると会わずに日本で入籍し、女性がアメリカへ渡り、初めて結婚相手と対面しました。この結婚を写真婚といいます。アメリカの白人の多くは、写真婚を「野蛮な文化」だと認識していました。

### 3 活用のポイント

- **中学校社会〔歴史的分野〕の場合…C 近現代の日本と世界**

資料との直接の関係はありませんが、解説シートの「(3)その後のエンジェル島」を活用して、アメリカでの日本人移民に対する差別について、近代の日本における民族差別や女性差別、被差別部落に対する差別などのさまざまな差別とともに学ぶことで、近代における差別について多面的・多角的に考えることができます。

- **歴史総合の場合…B 近代化と私たち**

B(1)近代化への問いの「移民」に関する資料として活用できます。岩崎甚四郎がエンジェル島で2週間滞在することになったことから移民に対する検疫があったこと、アメリカ到着後に世話をする者がいたことからサンフランシスコで日系人コミュニティが形成されていたことを読み取り、19世紀末の日本人移民について考察する活動ができます。

また、解説シートを活用して、エンジェル島の歴史から19世紀末から太平洋戦争までの日本人移民や日系人が受けた扱いについて考察することができます。

- **日本史探究の場合…D 近現代の地域・日本と世界 世界史探究の場合…D 諸地域の結合・変容**

この解説シートのほか、解説シート「明治時代の交通―手紙でたどる明治時代の移民1―」、「日本人移民の労働環境―手紙でたどる明治時代の移民3―」を合わせて、日本人移民に関する授業を構成することができます。各学校の実態に応じて複数回に分けて実施することも可能です。

例えば、「明治時代の日本人移民を取り巻く環境はどのようなものだったのでしょうか。」と問いかけることで、この解説シートから甚四郎がアメリカ入国時にエンジェル島に滞在したことや、この解説シートの「2 解説(3)その後のエンジェル島」から日本人移民の入国の際の扱いについてやサンフランシスコ到着後に甚四郎を案内する日本人移民がいたことを読み取り、現地の日本人移民のコミュニティがあったことについて学ぶことができます。

### 4 出典

- ・当館寄託 岩崎家文書 整理番号 681〔桑港到着につき書状〕  
※文書群の詳細については、[和歌山県歴史資料アーカイブ「岩崎家文書移民関係資料（和歌山県立文書館寄託） 解題」](#)をご覧ください。

### 5 関連資料・ウェブサイト等

- ・[西山史朗「ある移民のアメリカ生活譚\(1\)」](#)（『和歌山県立文書館だより第59号』2021年）
- ・パネル展示「手紙でたどる明治時代の移民生活」（和歌山県立文書館）
- ・[移民資料室\(和歌山市民図書館\)](#) ・ [JICA 海外移住資料室](#)

### 6 参考文献

- ・和歌山県史編さん委員会編『和歌山県史 近現代1』和歌山県、1989年
- ・和歌山市史編纂委員会編『和歌山市史 第3巻』和歌山市、1990年
- ・和歌山県編『和歌山県移民史』和歌山県、1957年
- ・今野裕子「『危険な伝染病』の保菌者」（『亜細亜大学国際関係紀要』第32巻第2号、2023年）